

令和5年度生野区区政会議(第1回くらしの安全・安心部会)
 主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:令和5年6月13日(火)

開催場所:生野区役所 5階 502・503会議室

ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>生野区内一斉での防災訓練について、昨年の区政会議で提案させていただいたが、この度、それが実現されることになったのは、大変喜ばしいことかなと思う。それは感謝を申し上げる。ぜひ続けていていただきたいのと、皆さんに活動を認知してもらえよう、広報等周知活動を頑張してほしい。</p>	<p>今年度から、新たに生野区内で一斉に防災訓練を行う「生野区災害想定訓練」を実施することとなりました。この訓練は、大規模災害時に備え、発災時間を設定し、避難所開設訓練等を実施するもので、地域、行政、民間に参加いただき、生野区全体の防災力の向上を図ることを目的として開催するもので、今後は毎年実施する予定です。開催に向けては、広く周知を行い、より多くの方々が参加いただけるよう努めてまいります。</p>
<p>災害時における地域での自助・共助について、正直自分の住んでいる地域で自助ができるのかという疑問がある。また、共助をするに当たっても、どういった手順と仕組みでできるのかわからない。</p>	<p>自助・共助について、日頃から災害時に備えてどのような準備をしておくことが自分自身の身の安全を守ることににつながるのかについて記載している「市民防災マニュアル」を昨年度に班回覧するとともに各地域の集会所にも配架するなどし周知に努めており、今後も広報紙等を通じてわかりやすく周知を行ってまいります。また、地域で実施される防災訓練や、今年度初めて開催する「生野区災害想定訓練」においても地域ごとに防災訓練を行っていただき、近所や地域の方々と一緒に助け合うために必要な行動を訓練する機会になると考えています。</p>
<p>地域のさまざまな危機事態に対応できる人材の確保については、若い人がいないのが実情である。30代・40代の方がもう少し関わってくれたら変わるのかなと感じるので、防災リーダーや防犯などに、各町会から若い人を1人ぐらい出すというような仕組みになれば、もう少し自助・共助の仕組みも精度が上がるのではないかな。</p>	<p>現在、防災リーダーの方々にご活躍いただいておりますが、早い段階からの防災に対する意識を育て、地震・風水害に対する防災、減災等への取り組みに対し、自発的に活動する担い手を育成するため、地域の中学生の防災意識の醸成と防災体制の強化、知識、技能の向上をめざすことを目的として、今年度から中学生等を対象とした「生野区ジュニア災害リーダー(通称JDL)」の取組を進めており、若い世代の防災意識向上に努めております。</p>
<p>防災訓練に集まるのは高齢者ばかり。若者は全然来ない。一時集合場所に多くの高齢者が集まって、避難場所の小学校にも入りきらないこともあった。防災訓練をするだけでもすごく苦労がかかるうえ、キャパシティを超えていたので、正直、防災機能が機能しているのか疑問である。</p>	<p>現在、防災リーダーの方々にご活躍いただいておりますが、早い段階からの防災に対する意識を育て、地震・風水害に対する防災、減災等への取り組みに対し、自発的に活動する担い手を育成するため、地域の中学生の防災意識の醸成と防災体制の強化、知識、技能の向上をめざすことを目的として、今年度から中学生等を対象とした「生野区ジュニア災害リーダー(通称JDL)」の取組を進めており、若い世代の防災意識向上に努めております。</p>
<p>防災訓練のときに、各地域の学校などで、そういうことに取り組みたいような若者のボランティアを募るといいのではないかな。</p>	<p>小・中学生への防犯に関する啓発に関しましては、新学期に朝礼での啓発活動や小学校への防犯出前講座を実施しております。また、子どもたちが楽しんで防犯意識を持ってもらえるよう防犯標語「おこのみやき」運動、ガチ☆メン大会も開催しております。今後も引き続き、様々な啓発活動を通じて、子どもたちの防犯意識向上を図ってまいります。</p>
<p>鶴橋包括の地域では、保健師、包括職員、民生委員、町会長、女性部長が中心となって、熱中症予防のために高齢者に水配りをしている。その際に安否や健康状態の確認ができるので、よい取組ではないかと思う。敬老の祝いの品を渡すときも、安否確認を兼ねて、町会長、民生委員、女性部長が同行して1軒ずつ回っている。他の地域でも広がればよいと思う。</p>	<p>各地域における、高齢者の方への見守り活動につきましては、各地域で作成された名簿等を活用し、関係機関の連携のもと創意工夫をこらして実施していただいております。引き続きの取組をお願いいたします。</p>
<p>巽東地区約300メートルの直線道路には、小学校、中学校、わかば高校、生野支援学校と4校がある。通学路であり、安心・安全面を考えると、新生野中学校の正門前東側に防犯カメラの設置はしてもらっているが、その他のところに防犯カメラの設置が可能なのかな。</p>	<p>防犯カメラにつきましては、昨年度まで設置するというところで、各連合に1台ずつ設置したところですが、今年度は一定維持管理という形に変わっており、今後は大阪市全体でこれまでつけてきたカメラの現状を調査し、どういった形でやっていくのかを検討していくこととなります。</p>

ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>百歳体操にしる、食事サービスにしる、どうしても人数に制限があり、来る人も限られる。どこでも誰でもできるスポーツ、みんなが参加できるような健康づくりみたいなのがあればいいと思う。</p>	<p>誰もが参加できるイベントとしまして、今年度「いくの健康・食育フェア」を開催し、「大腸がんのクイズラリー」等にて、がん検診の受診啓発及び区民の健康づくりに取り組んでまいります。</p> <p>また、健康意識の向上については、広報紙での健康通信及び各種検診情報の掲載、ホームページやツイッターでの啓発、区役所での庁内放送、中学生保護者等への啓発チラシの配布、郵便局等へのチラシの配架等取り組んでおります。健康情報媒体については、地域の特色を反映させ、対象者の年代や特性に対応するよう、より効果的な情報発信に努めてまいります。</p>
<p>健康意識の向上について、コミュニティに入れない方々にどうやって情報を伝達していくのかのほうがか重要じゃないのかとすごく感じているので、防犯とも併せて、健康状態の確認だったりとかも一緒に安否確認とできたら、なおいいのでは。</p>	
<p>地域福祉の分野で、公的サービスでは解決できない課題については、ファミサポの方々にも協力してもらいながら子どもたちの様子を公的機関につなげていくとか、ボランティアの方々が高齢者の方々の様子を報告してもらえそうな仕組みを作っていけるといいのではないかと。</p>	<p>地域において見守り活動をしていただいている中で、気になる方がおられた場合には、区役所や区社協の見守り相談室などへ情報提供していただきましたら、関係機関と連携を図りながら、必要な支援を行っているところです。</p>
<p>地域福祉関係の支援ネットワークを見える化すると、30代、40代の若い世代の人も活用しやすくなるのかなと思う。啓発活動と併せて、こういった取組をしているというのを、もう少しデジタルで情報提供してもらえたらうれしい。</p>	<p>区役所や区社協の取組みにつきましては、広報紙やホームページに掲載するなどの啓発も行っております。今後は、SNSの活用も含め、より効果的な啓発活動に努めてまいります。</p>
<p>スリーアイズは障害者も高齢者、子どもも皆関係なくできるスポーツで、これを中心に推進していったスポーツを通じて、どんな人たちがいるのか、とりあえず顔見知りになってから、支援ネットワーク等々の次の段階として組み上げていったらいいのではないかとと思う。</p>	<p>生野区におきましては、毎年区民スリーアイズ大会を開催しております。開催に伴い、区役所としましては、広報紙やチラシ・ポスター等により広報に努めております。またスリーアイズ大会以外のスポーツイベントにおいても、障がいのある方をはじめ様々な方が参加しやすいイベントとなるよう取り組んでいるところです。</p> <p>今後につきましても、より広く区民の皆様にご参加いただけるよう、関係団体と連携し、広報を行うなど取組を進めてまいります。</p>
<p>生野区の中でも、町のクリニックで積極的に年数回程度、いろんな検査をしていると、そういうところも、健診の受診率の低いということもあるのかなと思う。</p>	<p>受診率の向上に向けては、検診の必要性をお伝えできるよう広報するとともに、受付時間の延長や、土日に開催する総合がん検診の回数増加など、定員や実施回数を増やし、多くの区民の方に受診していただけるよう取り組んでまいります。</p>
<p>社協及び地域包括センターの職員が配っていたが、高齢者向けの生活支援サービス情報の冊子があり、項目別に、住所、電話番号とサービス内容も入って、非常に端的な資料で、見やすい資料だと思った。こういったいい資料ができていたので、できればそれぞれの町会の役員さん宛てに、19連合の役員さんに配付をぜひしていただければと思う。</p>	<p>令和5年2月に生野区社会福祉協議会が生活支援体制整備事業の取組みとして、高齢者の方の暮らしに役立つ情報をまとめた「生活支援サービス情報」の冊子を作成いたしました。関係機関等に配布し、高齢者支援にご活用いただいております。ご意見は区社協にお伝えさせていただきます。</p> <p>なお、冊子は、区社協や区民センターに設置をするほか、区社協のホームページ(>生活支援コーディネーター)でもご覧いただけますので、ぜひご活用ください。</p>
<p>外国人住民向けの包括支援ネットワークのようなものあればいいと思う。日本の文化や地域のルールなどを伝えやすくなると思う。</p>	<p>外国人住民にとって、日本の文化や地域特性について知る機会があれば、より暮らしやすくなると思われることから、地域住民の方との相互理解を図りながら、支援につながるよう進めてまいります。</p>
<p>多言語で、町内会とはこんなものと案内できるようなものあればいいと思う。それを区役所のホームページに掲示したり、ダウンロードして置いてもらえると、各町会の皆さんもそれを出してお知らせできるので感じた。</p>	<p>外国人住民にとって必要な情報は、防災をはじめ、ごみのマナーなど、多言語化、そしてやさしい日本語により発信しておりますが、町会についての案内についても、同じく発信できるようにしてまいります。</p>
<p>日本語学校に通っている人たちに、地域のイベントを手伝ってもらう形で参加してもらい、相互理解から始めていけるといいと思う。顔を知っていることで、お互いに協力体制が構築できると思う。</p>	<p>生野区内においては多くの日本語学校があり、一部の地域では地域の取組みに日本語学校の生徒が参加している事例も出てきています。地域のご理解を得ながら交流を促進するようまちづくりセンターと連携してまいります。</p>

ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>災害時避難所の案内について、日本語、韓国語、中国語以外の言語もあったらいいと思う。防災の多文化対応とか多言語対応を考えていかなければいけない。</p>	<p>web版ハザードマップ、くらしの便利帳等防災にかかる情報について多言語対応で周知を行っていますが、今後も多言語対応について改善・拡充に努めてまいります。 また、各避難所に配備しています「避難所開設キット」内に多言語案内指さしボード(5か国語)を配置するとともに、このボードを使用して本年6月25日、7月2日に開催しました防災リーダー研修で大阪国際交流センターの協力のもと、外国人住民の方の避難所受付訓練を実施したところです。</p>
<p>日本語を母語としていたり、日本文化を母文化としているような住民がやさしい日本語について学んで習熟していくような機会が増えていくといいのかなと思う。行政情報だけではなく、地域情報を、どういうふうにやさしい日本語だったり、多言語化していくかいうところを、行政の側でも何かできないか検討いただければと思う。</p>	<p>やさしい日本語は、いただいたご意見のとおり、外国人住民だけでなく、誰もが相手を思いやる気持ちをもってコミュニケーションする言葉です。当区としましては、「やさしい日本語からつながろう」と称して、区民の方々へのやさしい日本語の普及に努めております。そうすることで、行政情報だけでなく、地域住民の方も含めてみなさんがやさしい日本語による情報を広く発信できるように進めてまいります。</p>